

SG3600LG, SG3600LJ

PowerChute Business Edition

導入手順説明書

2014年3月 1版

本書は、PowerChute Business Edition（以降PCBEと記述）をSG3600にインストールしてご使用になる際の手順を記載しています。

尚、PCBEはSGに含まれません。ご使用になる場合は、別途ご購入をお願いいたします。

1 PCBE導入手順

1.1. Management Consoleの設定

PCBEのマネージャからPCBEエージェントにアクセス可能とするために、SG側でアクセス許可の設定が必要になります。Management Consoleのリモートメンテナンス画面より、以下の設定を行ってください。

1. [システム > シリアルポート設定]画面より、「シリアルコンソール接続用途以外」をチェックして、「設定」ボタンをクリックします。
2. [リモートメンテナンス] 画面内の「操作可能ホスト」に、「PCBEサーバ/コンソールをインストールしたWindowsサーバ」のIPアドレスを追加して、「設定」ボタンをクリックします。
3. [リモートメンテナンス] 画面内の「アクセス許可ポート番号」に、以下の値を入力し「設定」ボタンをクリックします。
TCP: 2161, 2260, 3052, 6547
UDP: 2161, 2160

1.2. PCBEのインストール

PCBEに付属のドキュメントに従って、PCBEエージェントをインストールしてください。PCBEエージェントは、PCBEに付属のCD-ROM媒体に格納されています。

1.3. UPSの設定

UPSの設定を行ってください。詳細は、PCBEに付属のドキュメントに従うか、下記の資料を参照ください。

http://www.nec.co.jp/pfsoft/esmpro_um/um_download.html

「PowerChute™ Business Edition Basic インストールガイド／リリースノート」

※ご購入された PCBE のバージョンにあったものをご参照ください。

尚、設定手順の概要を下記に記載します。

LCDパネル付きSmart-UPS以外の場合（第4世代UPS）

1. Management Consoleより、PowerChute の管理を行うため、webpcbeをインストールしてください。
 - 以下のサイトより、webpcbeのrpm がダウンロード可能です。
http://www.nec.co.jp/pfsoft/esmpro_um/um_download.html#setup
->インストールガイド/リリースノート
-> webpcbe
 - [パッケージ > 手動インストール]画面にて上記rpmを指定して下さい。
2. Management Console の [サービス] 画面より、PowerChute の管理コンソールにアクセスできますので、必要な設定を行ってください。

LCDパネル付きSmart-UPSの場合（第5世代UPS）

第5 世代Smart-UPS をご使用の場合、Management Console からPowerChute Business Edition エージェントの設定を行うことはできません。

ローカルマシン上で、root権限にて、
「/opt/APC/PowerChuteBusinessEdition/Agent/config.sh」を実行し設定してください。

商標について

Windows、Internet Explorerは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
その他、記載の会社名および商標名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 2014
NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。